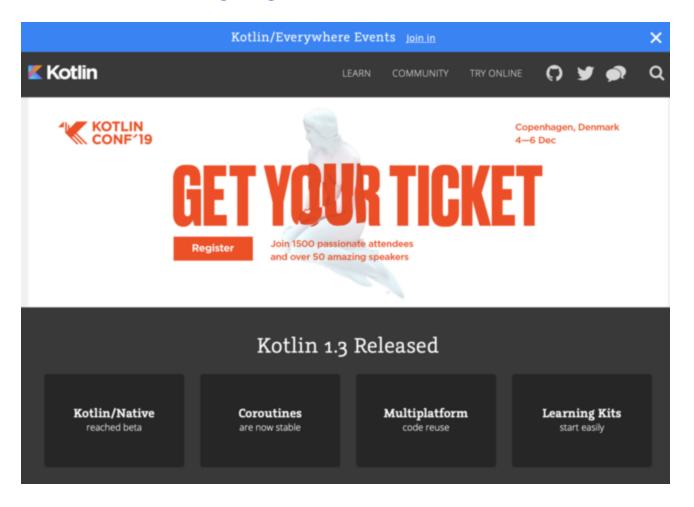
Kotlin Updates in LL2019

2019-08-24 @eyasuyuki

Kotlinとは(1/3)

https://kotlinlang.org/



Kotlinとは(2/3)

- JetBrainsが開発したコンパイラ言語
 - JVMバイトコードへのコンパイル
 - JavaScriptへのトランスパイル
 - LLVM中間表現へのコンパイル
- Null安全
- スマートキャスト
- データクラス (ボイラープレートからの解放)
- 高速なコンパイル (Scalaに対する優位性)

Kotlinとは(3/3)

- 関数型言語からの影響
 - ラムダ式
 - 高階関数
 - 。 末尾再帰
 - 多値
 - 。 パターンマッチ
 - 型推論
 - ifなどが構文ではなく式(値を返す)
 - 中値記法

Kotlin躍進のきっかけ

• 2017年のGoogle I/OでAndroidの開発言語として正式に採用された

Kotlinの歴史(1/2)

バージョン1.0未満は省略しました。

年月	バージョン	主なトピック
2016年2月	1.0	Javaとの完全互換 Java6バイトコードへのコンパイル
2017年5月		Androidの開発言語として正式採用
2017年3月	1.1	JavaScript対応 コルーチン(実験的) async/await,yield Java9サポート コンパイル速度の向上

Kotlinの歴史(2/2)

年月	バージョン	主なトピック
2017年11月	1.2	マルチプラットフォームプロジェクト(実験的)
2018年11月	1.3	コルーチン Kotlin/Native 契約(Contracts)

1.0から1.3までの大きなトピック

- マルチプラットフォーム対応
- コルーチン
- 契約(Contracts)

マルチプラットフォーム対応

- 当初はJavaとの完全互換が大きなメリットだった
 - JavaとKotlinが混在しても動作するので部分的に移行することも可能
- 次いでJavaScriptへの対応が行われ、フロントエンドもKotlinで開発出来るようになった
- Kotlin/Nativeのリリースでネイティブコンパイルが可能になりJavaに依存しない道が開かれた
- 適用分野:
 - 当初はAndroid開発が主な用途
 - 。 現在ではサーバーサイドからフロントエンドまで全てKotlinで開発できる

マルチプラットフォームプロジェクト(実験的)

- 1つのプロジェクトで複数ターゲットのビルドが可能
- build.gradle などに記述
- gradle init でプロジェクトが作れる訳ではない(テンプレートがない)
- 参考文献: https://kotlinlang.org/docs/reference/building-mpp-with-gradle.html

Java対応

- 当初のメリット:
 - Java6でもラムダ式や関数型言語的なプログラミングができる
- Java8以降が広く使われるようになり当初のメリットは薄れた
- Kotlin自体もJava8以降のバイトコードに対応できるようになた

JavaScript対応

- とりあえずKotlinからJavaScriptにトランスパイルはできる
- TypeScriptやDartと比べて便利かというと... 🤔
- Kotlin/NativeでWebAssemblyにコンパイルする方が有望...?
- 参考文献: https://speakerdeck.com/subroh0508/jstoge-dousinagarakotlinfalseiketeruwen-fa-woxue-bu

Kotlin/Native

- KotlinからLLVM中間表現へコンパイル
 - Linux
 - Windows
 - Android NDK
 - o iOS
 - macOS
 - WebAssembly
- 当然ながらJavaのライブラリは使えない
- iOSアプリがKotlinで書ける
- 参考文献: https://www.slideshare.net/TakakiHoshikawa/kotlinnative

コルーチン

- async
 - Deferred<T> を返すコルーチンビルダー関数
- await
 - Deferred<T> のサスペンド関数
- yield, yieldAll
 - サスペンド関数。その時点で中断して値を返す
- Channel
 - コルーチン間で値を送受信できるキュー (like Golang)

async(1/2)

```
println("start async")
GlobalScope.async {
    // ノンブロッキングで実行されるため実行前にmain()が終わる
    println("Inside async")
}
println("end async")
```

実行結果:

```
start async end async
```

async(2/2)

```
println("start async")
GlobalScope.async {
    println("Inside async")
}
Thread.sleep(1000) // これがないとasync実行前にmain()が終わる
println("end async")
```

実行結果:

```
start async
Inside async
end async
```

await(1/2)

```
val defferd = GlobalScope.async {
   println(App().greeting)
}
defferd.await()
```

コンパイルエラー:

> Task :compileKotlin FAILED e: /Users/yasuyuki/git/KotlinUpdates/src/main/kotlin/org/j avaopen/kotlin/updates/App.kt: (37, 17): Suspend function 'await' should be called only from a coroutine or another suspend function FAILURE: Build failed with an exception.

await (2/2)

```
println("start runBlocking")
runBlocking {
    val defferd = GlobalScope.async {
        println(App().greeting)
    defferd.await()
println("end runBlocking")
```

実行結果:

```
start runBlocking
Hello world.
end runBlocking
```

asyncな関数(1/2)

```
fun hello() = GlobalScope.async {
   "Hello, async."
}
```

asyncな関数(2/2)

使い方:

```
println("start async function")
runBlocking {
    println(hello().await())
}
println("end async function")
```

実行結果

```
start async function
Hello, async.
end async function
```

契約(Contracts)

- スマートキャストの判定を改善するための宣言
- 関数が呼び出された後の状態を制約してスマートキャストが効くようにする

スマートじゃないキャスト(Java)

```
public void action(Animal animal) {
    if (animal instanceof Cat) {
        Cat cat = (Cat)animal;
        cat.scratch();
    } else if (animal instanceof Dog) {
        Dog dog = (Dog)animal;
        dog.bark();
```

スマートキャスト

```
fun action(animal: Animal) {
    when (animal) {
        is Cat -> animal.scratch() // Catであることは自明なのでCatのメソッドが呼べる
        is Dog -> animal.bark() // Dogであることは自明なのでDogのメソッドが呼べる
    }
}
```

契約(Contracts)のおさらい

- スマートキャストの判定を改善するための宣言
- 関数が呼び出された後の状態を制約してスマートキャストが効くようにする
- 参考文献: https://speakerdeck.com/ntaro/kotlin-contracts-number-m3kt

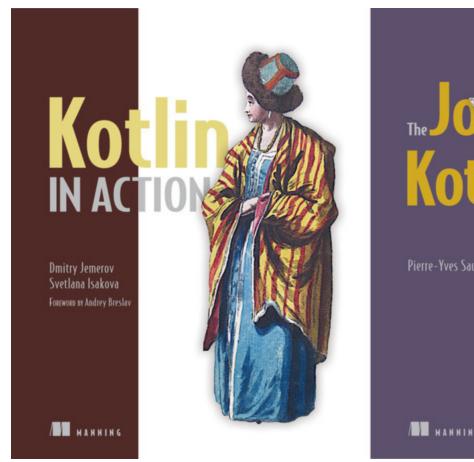
Kotlinの書籍(1/2)

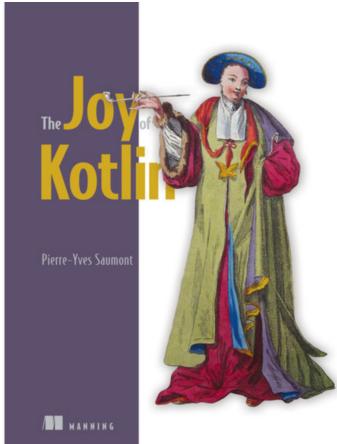
- 長澤太郎「Kotlinスタートブック」2016 (通称赤べこ本)
- 長澤太郎「Kotlin Webアプリケーション」2017



Kotlinの書籍(2/2)

- Dmitry Jemerov/Svetlana Isakova "Kotlin in Action" 2017 (訳書あり)
- Pierre-Yves Saumont "Joy of Kotlin" 2019





このスライドのソースとサンプルコード

https://github.com/eyasuyuki/KotlinUpdates